



2018年5月10日

各位

会社名：株式会社ゼンショーホールディングス  
代表者名：代表取締役会長兼社長兼CEO 小川 賢太郎  
(コード番号 7550 東証第1部)  
問合せ先：執行役員グループ経本部長 丹羽 清彦  
(TEL：03-6833-1600)

## 当社通期個別業績と前期実績との差異及び 当社個別決算における関係会社株式評価損（特別損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2018年3月期通期個別業績につきまして、下記の通り前期実績との差異が生じたので、お知らせいたします。また、個別決算において、下記の通り特別損失を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2018年3月期 通期個別業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2017年3月期)	百万円 243,353	百万円 4,355	百万円 6,213	百万円 3,733	円 銭 25.14
当期実績値(B) (2018年3月期)	249,115	2,959	9,177	3,268	22.13
増減額(B-A)	+5,762	▲1,395	+2,963	▲465	
増減率(%)	+2.4	▲32.0	+47.7	▲12.5	

#### 2. 経常利益差異が生じた理由

当社の子会社からの受取配当金が前期に比べ増加したことなどにより、経常利益は前期実績を47.7%上回る結果となりました。

#### 3. 特別損失の内容

当社は、当社の連結子会社である株式会社華屋与兵衛の財政状態及び業績等を勘案した結果、減損処理による関係会社株式評価損 2,709 百万円を特別損失に計上することといたしました。

#### 4. 特別損失が連結業績に与える影響

2018年3月期（2017年4月1日～2018年3月31日）の個別決算において、上記の関係会社株式評価損 2,709 百万円を特別損失に計上いたします。また、連結決算においては、同社に係るのれんの一時的償却を行い、のれん償却額 459 百万円を特別損失として計上いたします。

なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

以上